



豊見城市

Tomigusuku City

マンゴープロジェクト

マンゴー、野菜、ウーヅ染めなどの豊富な資源を生かせ！
多分野が知恵を出し合う新「豊見城ブランド」開発。

人もまちも取り組みも、
活気あふれる「豊見城」

沖縄県の玄関口・那覇空港から車で十五分、本島南部に位置する豊見城市は、農産物の盛んな地域で、市の特産物「マンゴー」をはじめ、サトウキビの葉や穂を使った「ウーヅ染め」が有名です。

二〇〇六年の東洋経済新報社が全国の市を対象に集計した「全都市／成長力ランキング」では全国一位に輝き、沖縄県観光振興計画に指定された豊崎地区を中心に、農産業・商業ともに発展を続けています。

豊見城市商工会では、平成十九年度に「地域貢献アピールプラン」を策定し、同会女性部の瀬長島にユリを植える「花いっぱい運動」や青年部によるニュージージラード生まれの陸上ヨット「ブローカート」大会の開催など商工会の各々が元気に活動することで、地域の活性化を図っています。「昨年開催したシンポジウムで農商工連携の気運が高まり、今年南部農林高校・県立芸術大学との



豊見城市商工会
事務局長 大城 満さん

産学連携で新たな地域産業活性化を目指します。豊見城の農水産物を素材にした新しい料理やスイーツの開発、地元飲食店へのレシピ提供も検討中」と話す事務局長の大城満さん。この取り組みは、平成二十一年の「小規模事業者新事業全国展開支援事業（中小企業庁補助事業）」の支援プロジェクト（通称「地域資源∞全国展開プロジェクト」）に採択され、推進しています。

品質・味・デザイン…
市場競争力のある
「豊見城ブランド」を守り育てる。

マンゴー農家の金城司さんは、「豊見城のマンゴー農家は協体制がすごい。病気や害虫の情報を共有したり、定期的に勉強会を行ったりと連携



マンゴー農家・金城 司さん、JAおきなわ南部地区営農センター・国吉 真也さん

が強く、それが強みです」と話します。JAおきなわでは、マンゴーの木の誘引（枝をヒモで地面に引っ張って横に寝かすこと）やハウスの温度管理、適正着花や落果直前の発色・熟度を見極めた収穫を農家に指導し、品質向上や安定供給を支援しています。さらに、「県内トップの出荷・生産量を誇る、豊見城マンゴー」は、糖度や色、大きさなどに独自の基準を設けた出荷場で共同選別されます。だから最高級の品質が維持できるんです」と、JAおきなわ南部地区営農センターの国吉真也さん。農家との二人三脚で、全国でも評価の高い「豊見城マンゴー」をしっかり支えています。



平成元年に商工会の村おこし事業に採択された「ウーヅ染め」も、国や県、市や商工会の援助・支援を受け、成長を続けてきました。「地域のもものは地域で育てようとする団結の強さが豊見城にはあります」と語る豊見城市ウーヅ染め協同組合理事長の垣花悦子さん。その名称やオリジナルの柄などを商標・意匠登録し、九名の後継者とともにさらに価値を高めた新商品開発に力を注ぎます。

「豊見城ブランド」を
紹介する交流拠点も完成

道の駅「豊崎」に昨年誕生した「JAおきなわ食菜館」とよさき菜々色畑は、女性の視点から見た食の安全・安心をテーマに、地域の食材をふんだんに使用したさまざまな商品を提供する地産地消の拠点です。豊見城マンゴーや地元の新鮮な野菜に加え、JA女性部による味噌や惣菜、お菓子などの加工品も取り扱います。

「地域の人々とふれあい、地域の資源を紹介することで、豊見城の元気を応援できる場所でありたい」と店長の山城恵子さん。地元客はもちろん、店舗がレンタカーステーションに隣接することから観光客の来店も多く、店内は大いに賑わいます。また、南部農林高校の生徒が開発した新商品試食会を行うなど、地域アンテナショップとしての役割も担っています。分野や取り組みは異なっても、絶妙なサポート力で互いを支え、時にライバル意識を燃やす豊見城の元気ブランド。そこは訪れる人を夢中にさせる楽しい魅力に満ちていました。

女性たちがパワフルに活躍する「豊見城市ウーヅ染め協同組合」の皆さん



豊見城市商工会
☎098-850-2060
URL <http://www.tomi-shoko.or.jp>

地元の特産品を揃えた「とよさき菜々色畑」。休日はイベントでさらに賑わう。

「豊見城市に学ぶ！」
元気プロジェクトの開発ヒント
元々ある豊富な地域資源を
存分に生かす
各団体が支援者であり良きライバル！
互いの取り組みが大きな刺激に
確かな品質、安定供給で
競争力あるブランドを築く

編集後記

先月三日に行われた知事の鳥島射撃場海上視察に、私もカメラ担当として同行したのですが、その日の海はかなり荒れていました。射撃場の視察を終え、港まで戻る途中で向かってきた高波に乗り上げて船がジャンプしたのですが、同僚がその衝撃に「うおー」とビビっていた中、知事は動じることなく平然としていました（驚）。さすがです！
(Takao)

最近不運続きの私。友人に相談すると「厄年なんじゃない」と言われました。調べてみると、なんと今年大厄に当たっていました。しかも、三十代の女性は数え年で三十二歳から三十八歳までの七年間は厄年に当たるそうです。普段信心深い私でも、さすがに厄払いにも行くのかなと思う今日この頃です。
(momoko)

沖縄県広報誌 平成21年7月1日発行第33巻7号通巻406号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL: 098-866-2020

●表紙 写真・島袋常貴 /
地域の特産物を紹介、応援する
「とよさき菜々色畑」(豊見城市)